

平成18事業年度 一般勘定 財産目録

(平成19年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部			負債の部		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
(流動資産)		4,018,233	(流動負債)		9,407,000
前払費用	訴状送達代理人費用	324,842	未払金	職員給与、税理士報酬	7,752,000
未収利息	有価証券運用利息	3,693,391	未払法人税等		1,655,000
(固定資産)		10,536,177,781	(特別法上の引当金等)		10,700,000,000
有形固定資産		5,959,762	当初拠出金		
建物	事務所内パーティション	1,579,263	当初拠出金資産見返	117行・庫	10,700,000,000
器具備品	サーバー、金庫等	4,380,499			
無形固定資産					
電話加入権		346,500			
投資その他の資産		10,529,871,519			
当初拠出金資産	普通預金(276,500,686)、 有価証券(10,245,315,221)	10,521,815,907			
敷金	東京建物に差入れ	8,055,612			
資産合計		10,540,196,014	負債合計		10,709,407,000
			正味財産		-169,210,986

平成18事業年度 一般勘定 貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債・剰余金の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産)	4,018,233	(流動負債)	9,407,000
前払費用	324,842	未払金	7,752,000
未収利息	3,693,391	未払法人税等	1,655,000
(固定資産)	10,536,177,781	(特別法上の引当金等)	10,700,000,000
有形固定資産	5,959,762	当初拠出金	
建物	1,579,263	当初拠出金資産見返	10,700,000,000
器具備品	4,380,499		
無形固定資産		(剰余金)	-169,210,986
電話加入権	346,500	繰越欠損金(-)	-152,453,100
		当期損失金(-)	-16,757,886
投資その他の資産	10,529,871,519		
当初拠出金資産	10,521,815,907		
敷金	8,055,612		
資産合計	10,540,196,014	負債・剰余金合計	10,540,196,014

平成18事業年度 一般勘定 損益計算書

自平成18年4月1日
至平成19年3月31日

(単位:円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
(経常費用)		(経常収益)	
一般管理費	73,126,412	受取利息	57,578,526
役職員給与	30,000,000		
諸謝金	1,444,430		
旅費交通費	119,280		
事務費	37,802,506		
租税公課	2,244,300		
減価償却費	1,515,896		
(法人税等)		(当期損失)	
法人税等		当期損失金	16,757,886
法人税、住民税及び 事業税	1,210,000		
合計	74,336,412	合計	74,336,412

重要な会計方針等

1. 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)を採用している。

2. 固定資産の減価償却方法

使用可能と認められる期間にわたって、定額法により行っている。

なお、減価償却累計額は次のとおりである。

有形固定資産 7,257,102 円

3. リース取引の会計処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

4. その他財務諸表作成のための重要な事項

(1) 消費税および地方消費税の会計処理方法

税込方式によっている。

(2) 当初拠出金資産および当初拠出金資産見返について

当初拠出金資産見返は、銀行等の株式等の保有の制限等に関する法律(平成13年法律第131号。以下、法律と称す)第四十八条第一項第一号に掲げる業務に要する費用に充てるため、法律第四十一条第一項の定めるところにより機構の会員が納付したものである。また、当初拠出金資産は当該拠出金のうち、いまだ業務に要する費用に充てていないもののうち、法律第五十二条の規定により運用している金額である。